



みらい通信

第68号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
電話 019-671-2244
FAX 019-671-2243
Email miraiken@shiwa-mirai.com
発行日 平成26年10月29日(水)

■ これまでの主な委託事業報告



4月20日(日)、使用済み食用油回収団体を対象に、BDFを常時使用している企業におじゃまし、BDFを車に投入する方法を見学しました。左の写真は、BDF燃料をトラクターに入れ、運転しているところです。他の燃料との差は、ほとんどないという結果に皆さん驚いていました。今後も使用済み食用油を燃えるゴミに捨てないように、BDF等の利用方法を考えていく必要があります。

※販売については、みらい研までお問合せください。



6月7日(土)、日詰小学校5年生を対象に、ふだん、なにげなく捨てている飲み残しの牛乳や食器や衣類の洗剤などがどれだけ環境に負荷を与えているか、水環境の大切さを知ってもらう体験学習を実施しました。また、環境にあまり負荷を与えない純石礫でできている粘土のような石礫を使った作品と世界でたったひとつだけのマイバッグづくりに挑戦してもらいました。子どもの想像力はすごい！すてきな作品がたくさんできました。

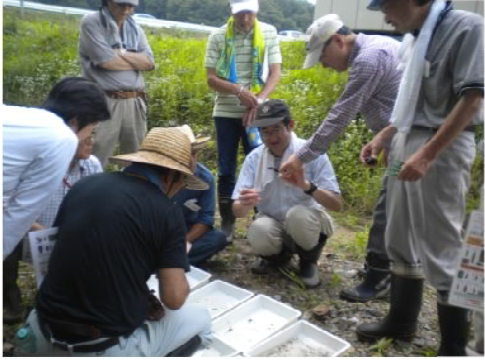


7月15日(火)、星山地区間野村自治会の皆さんが、町内の燃えるゴミ・資源ごみ・生ゴミを回収している清掃センター・堆肥やペレットを製造しているえこ3センター・太陽光や温泉の排水熱を利用したヒートポンプなどがあるう・フランス温泉館を見学しました。清掃センターを見学した町民は、「働いている人たちに頭がさがる。資源ゴミや生ゴミに異物が入らないよう、捨てる前にきちんとした分別をこれまで以上にやっていく必要があると感じた」と感想を述べていました。



8月3日(日)、紫波フルーツパークで日詰15区子ども会がネイチャーゲームを取り入れた自然観察会に参加しました。

森ではあまり見かけないプラスチックのおもちゃなどを探すゲームではあせるあまり見落としては悔しがったり、昆虫を見つけてはうれしそうに歓声をあげたりしていました。また、紫波町の木を使ったクラフトにも挑戦！昼食は、保護者が取ってきた竹で器や箸を作り、流しそうめんを食べました。暑さにも負けず、森の楽しさを満喫した一日となりました。



7月から12月までの月1回（7月は月2回）、町の自然や生活環境を知りたい人、環境を守る活動に興味のある人を対象として、町が開講する環境マイスター養成講座の運営のお手伝いをしました。平成17年からこれまでに153人の皆さんが認定を受け、地域や学校などで保全活動や啓発活動をしています。本研究所の会員も認定を受けています。

大学の教授などを講師に迎え、環境に関する基礎的知識を楽しみながら学びます。今年度は、あと2回を残すのみ。



平成26年度も循環型まちづくりを視察に訪れる議員や民間団体への概要説明と見学等のコーディネートを実施しました。

特に、エコ3センター、森林資源循環の一環として建設された公共木造施設、再生可能エネルギーを導入しているラ・フランス温泉館の視察が増えています。

現在は、事務局が視察対応しておりますが、会員の皆さんも町の施策を学びながら、町外の人たちと交流してみませんか。

参加してみたい方は、ご連絡ください。お願いします。

■ これまでの主な自主事業報告



5月24日（土）、盛岡の情報産業労働組合連合会岩手県協議会による紫波企業の森づくり活動を、上山新田地内の個人所有の山林において実施しました。今年で協定最後の活動ということもあり、昨年を上回る51人の参加者でした。

この地区は、昨年の豪雨の被害が多くあったところです。樹齢は30～40年とかなり太い木もありましたが、若者パワーであつという間に丸太が積まれました。この丸太は、「間伐材を運び隊」によりチップ工場に運ばれ、ラ・フランス温泉館のチップボイラーに利用されます。



4月：エルテス
6月14日：
盛岡信用金庫
6月28日：
（株）藤村商会
9月20日：
東北銀行



紫波企業の森づくり活動は、情報労連以外に、盛岡信用金庫、（株）藤村商会、東北銀行、エルテスが本研究所のコーディネートで年1回森林整備を実施しています。職員の皆さんは休日にも関わらず、遠くは沿岸からも駆けつけてくれます。主な作業内容は、業者が事前に切り倒した材木を、軽トラックに積み込みやすい場所まで運ぶことです。長年、整備されていない山林が活動場所なので、樹齢30～40年にもなっている材木は、かなりの重さです。でも、運び終えた皆さんは、疲れているんでしょうに笑顔なんです。今年も大変、お疲れさまでした。



9月12日～15日、長岡地区において、國學院大學関係者24人、地元住民約25人の参加があった里山づくりプロジェクトを実施しました。学生は、長岡公民館に宿泊、県の食の匠細川玲子さんを中心に地元のお母さんたちに作っていただいたおいしい食事や小屋を食べ、森林整備に汗を流しました。学生や地元の人たちが間伐すると、みるみる森に光が入り、すてきな里山に生まれ変わりました。ご苦労さまでした。

14日には、國學院大學生をねぎらうため、地元住民も参加し、交流会を盛大に開催しました。



9月16日～19日、中央大学の丸山ゼミの学生19人が町内の農家を訪れ、農作業体験を行いました。米、ぶどう、りんごの収穫、産直の販売体験など、紫波町ならではの作業を体験することができました。左の写真のように、トラクターやコンバインの運転もさせてもらったようです。その他に循環型まちづくりの施設として「えこ3センター」を見学し、堆肥ができるまでの行程を研修しました。紫波ツーリズム協議会と一緒に事業を行いました。学生は、協議会の会員である農家やお寺などに宿泊し、農村の暮らしも体験することができました。



6月・8月・10月と就学前の児童や小学生を対象に、森のあそび場“りんくる”を開催しました。春と秋は、大巻地区の大正園で、夏は紫波フルーツパークを会場としました。

大正園では、動植物の豊富さや里山の静けさに癒され、頂上ではブランコ、ターザンロープ、どんぐりパチンコなどで遊びました。フルーツパークでは、昆虫探し、参加者が持参したシーグラスの作品づくり、流しそうめんなどを楽しみました。

10月は、SEVE JAPAN プロジェクトとして日本NPOセンターと損保ジャパン日本興亜の協力をいただき、開催しました。



8月28日、オガール緑の大通りにおいて、子育て支援センター主催の夏祭りに参加しました。会員が町の木で作った積み木やしゃぼん玉などをたくさんの親子連れに楽しんでもらいました。0歳児や1歳ぐらいのお子さんが多かったのですが、3歳か4歳ぐらいになったら、森のあそび場に参加してほしいなと思いました。また、エンジュの木で作ったコースターと本研究所を知ってもらうためのリーフレットを参加者に渡すことができました。参加したスタッフも久しぶりに童心に帰った時間でした。

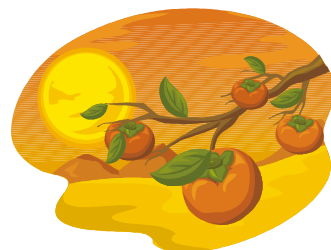


農林課主催の食育推進事業に、子ども料理教室と町内のほ場を巡るツアーを企画提案しました。これまでにじゃがいもや小松菜などの野菜収穫と夏野菜を使った料理教室を開催。参加した親子は農産物のほ場で自ら収穫した野菜を食べるという体験をしました。小松菜の取立てを生で食べ、「甘い！」と信じられないような顔?!小松菜のスムージーもおいしかったようです。この企画は、あと2回残っており、11月はもちもち牛の子牛ふれあい体験とハッシュドビーフの試食。12月は、お赤飯を作る料理教室を実施する予定です。

● ● 定例会のご案内 ● ●

会員同士の親睦を深める、事業などを共有するために、下記のとおり定例会を開催します。お忙しいとは思いますが、ぜひ、ご参加ください。

- 日時 平成26年11月 5日(水) 午後6時から
- 場所 紫波みらい研究所事務所
- 内容 これまでの事業や今後の計画について
会員同士の意見交換&交流など



※ 駐車場は、オガールプラザ南側の有料駐車場をご利用ください。

● ● 今後のスケジュール ● ●

● モーッと知ろう! しわもちもち牛(黒毛和牛)のこと!!

町内生産者の牛舎で子牛とのふれあい体験ともちもち牛を使った料理の試食。

日時 11月 1日(土) 午前9時30分~午後1時まで

集合場所 紫波中央駅前(バスで現地へ移動します)

内容 子牛とのふれあい体験と牛についてのお話
もちもち牛のハッシュドビーフの試食

講師 細川栄子さん(片寄地区 細川農場)

対象 4歳から小学生までの子と親 先着10組

参加費 1人 500円

※ 会員の皆さんも一緒に参加してみませんか。引率のお手伝いをお願いします。

モーツ



● 食育推進フォーラムへの参加 農林課が主催する事業です。

日時 11月 9日(日) 午後1時30分~午後4時15分

場所 紫波町情報交流館 大スタジオ

申込 参加申し込みが必要になります。みらい研究所まで申し込んでください。

講演会 午後2時45分から午後4時15分まで

演題 「紫波町の食文化の伝承と活性化」

講師 メグミプランニング 小野寺 恵氏

その他 午前10時から市民交流ステージにおいて、地産地消料理コンクールの審査会が行われます。

● 紫波町環境マイスター養成講座 環境課が主催する事業です。

日時 11月15日(土) 午前10時~午後3時まで

12月13日(土) 午前 9時15分~午後3時45分

場所 紫波町中央公民館 2階研修室

※会員の皆さんで講座のお手伝い(受付や資料の配布など)ができる方を募集しています。

午前、午後のどちらかでもかまいません。事務局まで連絡ください。

【編集後記】

みらい通信の発行が滞っていて、大変申し訳ありません。今回は、事業の報告のみになってしまいました。来月からは、定期発行ができるように頑張ります。風邪などひきませないように!(S)